

自己評価結果公表シート（平成28年度）

1、本園の教育目標

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

前年度に引き続き、教職員間で安全管理について共通理解をはかり、連携を深めつつ回避可能なケガをしないように意識を高める。

また、前年度の課題であった『環境』について課題が多く見られたため、引き続き取り組んでいく。また、今年度は教職員の保育の質の向上を目指すとともに、知識・技術の向上を目指して取り組む。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	評価
幼児の周囲の環境を複数の視点から検討する。	幼児の周りの人や物、生活環境、遊び環境等が正しいものであるかを判断し、改善する。	A
アンケート結果による保護者行事の見直しを進める。	保護者の参加行事の回数を減らし、より行事に参加しやすい環境を作る。	B
園内外の安全管理意識を高める為に、保護者への通知や安全管理の意識の向上を行う。	市から通知される不審者情報等を保護者へメールで告知する。また、園内での出来事を週3回の終礼で報告し、幼児の安全管理意識を高める。	B
職員の知識・技術の情報を目指し、より質の高い教育を提供すると共に保護者から当園に対する安心感、信頼感を強める。	職員が積極的に研修に参加し、会議等で互いに情報を共有する。保護者に情報を伝え、理解してもらいながら進めていく。	B

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

達成できた項目もあるが、まだまだ経過途中の項目も多く見られた。
またその中で、保護者に対して情報を細部まで連絡することを目標にしたが、引き続き継続的に取り組む必要がある。

5、今後取り組むべき課題	具体的な取り組み方法
基本的生活習慣	教育の基本的な「挨拶」や「お礼」など言葉や人間関係だけでなく、朝食を食べる、早寝早起きをする、といった正しい生活習慣を身に付けてもらえるよう、家庭(保護者)を含めて子ども達に促す。
特別支援教育	キンダーカウンセラーと共に、配慮の必要な幼児一人ひとりの指導する計画を立てる。
職員の質の向上	一つのテーマについて、研修や園内会議で、情報を共有しながら話し合う。

6、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

7、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

「達成度」の表示方法

【A】：十分に達成されている。

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが、達成が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である